

平成24年度 事業計画書

自 平成24年 4月 1日
至 平成25年 3月31日

公益財団法人 社会貢献支援財団

平成24年度事業計画

I. 基本方針

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災において、岩手、宮城、福島各県を中心とした、人命救助、救護、また復興に向けた支援活動の功績を対象にした表彰式典を、日本財団と共催により平成24年5月1日に行う。

日本財団は、この大震災で特に被災地支援に貢献のあった芸能関係者を選考し、表彰するものである。

なお、当財団が行っている、従来の人命救助、社会貢献、海の貢献の各功績を対象にした表彰式典は、平成25年度に繰り延べて行う。

上記大震災時の救助や支援活動等の候補者を募集するにあたり、岩手、宮城、福島各県の当該市町村、地方自治体、社会福祉協議会、警察、消防、地方紙等と連携のうえ周知するとともに、新聞・テレビ・インターネット等から情報を収集し、表彰候補者の拡大に努める。

上記の表彰事業を実施するために、基本財産の運用収入等の自己資金収入により経費を賄うことは難しく、また例年より拡大した規模で事業を実施する為、当年度も日本財団に助成金の交付を仰ぎ、活動の財政基盤の確保を図り健全な運営に努める。

II. 事業の内容

1. 東日本大震災における救難・復旧活動への表彰

推薦を受けた表彰候補者について表彰選考委員会で審議し、その選考結果にもとづき、会長が受賞者を決定し、理事会へ報告する。

社会貢献者表彰式典を開催して受賞者を表彰するとともに、併せて祝賀会を実施する。

(1) 後援

内閣府、総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、国土交通省

(2) 受賞者の決定

- ① 時期 平成24年3月1日
- ② 受賞者数 130件以内
- ③ 副賞 50万円/件

(3) 受賞者への通知：平成24年3月5日

(4) 東日本大震災における救難・復旧活動への表彰式典（祝賀会併催）

- ① 開催時期 平成24年5月1日（火）
- ② 実施場所 帝国ホテル 孔雀の間
- ③ 授賞件数 130件以内
- ④ 贈呈品 表彰状、副賞、記念品
- ⑤ 参加者 約600名（受賞者を含む）
 - ・受賞者（付添同伴者を含む） 約200名
 - ・後援府省（代表者を含む） 約30名
 - ・推薦関係者 約250名
 - ・業界団体・報道機関、その他 約120名

(5) 記録集の製作

平成24年度の受賞者の記録集を作成、関係各所へ配布する。

- ① 内容 受賞者の功績内容および手記を中心に、表彰式典の実施内容紹介等を取りまとめた、「東日本大震災における救難・復旧活動貢献者の記録」として作成する。
- ② 部数 600部
- ③ 配布時期 平成24年8月
- ④ 配布先 報道機関、図書館、受賞者、推薦関係者、後援府省、関連団体等

(6) 受賞者の功績内容の周知

- ①方法：新聞（全国紙、地方紙）、雑誌等の報道機関への受賞者発表、財

団ホームページへの掲載等を通じ受賞者とその功績内容を周知するとともにパブリシティ活動を行ない広報に努める。

②実施時期 受賞者決定以降随時

(7)平成25年度表彰候補者の推薦依頼

地方自治体、ボランティア団体、関係団体、社会福祉協議会、警察、消防等への推薦依頼、新聞（全国紙、地方紙）及び雑誌等での募集広告、当財団ホームページでの募集等を行なうとともにパブリシティ活動を積極的に行ない、候補者の推薦を募る。

推薦依頼時期 平成25年2月上旬

Ⅲ. 管 理 業 務

1. 会議の開催

財団の運営及び表彰事業を推進する為、理事会、評議員会を開催（予定）する。

(1) 理 事 会

① 平成24年5月下旬

- － 1. 平成23年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件
- － 2. 第3回評議員会開催招集について

② 平成24年9月下旬

- － 1. 日本財団に対する平成25年度助成金の交付申請について
- － 2. 会長及び専務理事の業務について（報告）

③ 平成25年3月下旬

- － 1. 平成25年度事業計画書及び収支予算書の承認について
- － 2. 会長及び専務理事の業務について（報告）
- － 3. 平成25年度社会貢献者表彰推薦募集依頼について（報告）

(2) 評議員会

①平成24年5月下旬

- － 1. 平成23年度決算報告書及び事業報告書の承認について
- － 2. 平成24年度事業計画書及び事業予算書について（報告）

(3) 理事・監事・評議員・選考委員合同委員会

平成24年12月下旬

平成25年度の社会貢献者表彰の方針等について、委員から意見聴取

2. 財産の管理

(1) 基本財産

基本財産20億5千万円は、定款に基づき適正な維持及び管理に努める。

(2) 普通預金

本年度も低金利が続くことが予測される中で、普通財産についても、極力効果的な運用を図る。

本年度の収入・支出の概要は以下のとおりである。

[事業活動の部]

事業活動収入計	¥197,700,000
事業活動支出計	¥198,947,000
事業活動収支差額	△¥1,247,000

[投資活動の部]

投資活動収入計	¥0
投資活動支出計	¥1,303,000
投資活動収支差額	△¥1,303,000

[予備費支出]

予備費支出	¥50,000
-------	---------

当期収支差額	△¥2,600,000
前期繰越収支差額	¥2,600,000
次期繰越収支差額	¥0